

第 68 回東京国際ギターコンクール優勝

洗練された技巧と音楽性。
ポルトガルの新星が紡ぐ至高の詩情

Dec

11.26

2026

Thu

開場 18 : 30

開演 19 : 00

ザ・ルーテルホール

札幌市中央区大通西 6 丁目仲通り

フランシスコ・ルイス

Francisco Luis Guitar Recital

ギターリサイタル

一般 3,500 円

学生 1,000 円

チケット取り扱い

[9/19(土)プレイガイド販売開始]

・Tel : 090-8176-3234 (吉住)

・Email : fuoco0326@gmail.com

・道新プレイガイド

・札幌市民交流プラザチケットセンター

・オンライン販売 **teket**

QRコードより



Program

古き菩提樹/S.ルドネフ

神秘的なバリケード、森の精たち/F.クーブラン〜D.ラッセル編

四季 Op. 37a より「6月：舟歌」/P.L.チャイコフスキー〜A.ワグネル編

前奏曲 第 6 番、前奏曲 第 3 番/F.ルイス

スペイン風セレナータ/J.マラッツ

前奏曲 ホ長調/F.タレガ

ゴロンビア組曲より「ポロ」/G.モンターニャ

間奏曲 変ホ長調 Op. 117-1/J.ブラームス〜L.ベレティッチ編

間奏曲 イ長調 Op. 118-2/J.ブラームス〜C.マルキオーネ編

ギター独奏のためのロンド Op. 129/M.C.=デスコ

「椿姫」の主題による幻想曲/F.タレガ

※プログラムは変更になる場合があります。

主催：公益社団法人日本ギター連盟北海道支部 後援：札幌市・札幌市教育委員会 北海道新聞社



Profile

フランシスコ・ルイス プロフィール

◆ Francisco Luís (フランシスコ・ルイス)

フランシスコ・ルイスは、ポルトガルのカルダス・ダ・ライーニャ出身のクラシックギタリスト。これまでに40を超える国際的な賞を受賞しており、D'Addarioのスポンサード・アーティストとしても活動するなど、同世代を代表するギタリストの一人として高い評価を得ている。10歳より地元の音楽院で音楽を学び始め、その後、リスボン国立音楽院、マーストリヒト音楽院、デン・ハーグ王立音楽院にて研鑽を積む。マーストリヒト音楽院ではカルロ・マルキオーネに、デン・ハーグ王立音楽院ではゾーラン・ドゥキッチに師事し、同校の修士課程を優秀な成績で修了した。さらに、ジュネーヴ高等音楽院においてジュディカエル・ペロワのもとで学び、教育学修士号も取得している。これまでに、ウィーン楽友協会、リスボンのアジュダ宮殿、ベオグラード国立劇場など、ヨーロッパ各地の著名な会場に出演。10か国以上で演奏活動を行っており、メキシコ国際ギターフェスティバルでは中米デビューを果たした。20歳の時には、EuroStrings 2020-2021 プロジェクトに選出された唯一のポルトガル人ギタリストとなり、ヨーロッパ各地で演奏会およびマスタークラスを行った。また、世界有数の権威をもつ Guitar Foundation of America 国際ギターコンクールにおいて、ポルトガル人ギタリストとして初めてファイナルに進出したことも特筆される。主な受賞歴として、東京国際ギターコンクール第1位をはじめ、ヴィゼウ国際春の音楽祭第1位、フロリダ・ギター・ファウンデーション・コンクール第1位、オランダ・ギター・ファウンデーション・コンクール第1位、イーザーローン国際ギターフェスティバル第1位、オールボー国際ギターフェスティバル第1位などが挙げられる。洗練された技巧と豊かな表現力に基づく演奏は国際的に高く評価されており、ソロおよびデュオ作品の録音にも積極的に取り組んでいる。ソロCD『Borrowed Voices』では、ギター以外の作曲家による作品の編曲に加え、自作曲も収録している。現在はオランダの t'Clockhuys にてギター教授を務めるほか、フローニンゲンのプリンス・クラウス音楽院において客員教授として後進の指導にもあたっている。また、国際的なマスタークラスの講師やコンクール審査員としても招かれ、演奏・教育の両面で幅広く活動している。